



Fall is coming (here?)! Catrina Caira

September is here which means the leaves are going to start changing colors soon. The last of the harvests are slowly coming in before winter and there are lots of good things to eat. Fall is my favorite season; the weather is good, the food is great, the leaves are beautiful and the holidays are fun. It is the perfect time to go hiking or for a nice bike ride. Back home the school year has just started so no one has a lot of homework yet and lots of clubs are busy with training and the first events of the year. Labour Day weekend starts this month and in the Ottawa/Gatineau area that means the balloon festival. Thousands of hot air balloons will go up over the three day weekend, they will be in all shapes, sizes, and colors. People come from all over just to watch. Everywhere you go people are having BBQs and enjoying the end of summer. When I was little this was when I would be helping my grandparents pick apples, grapes, and lots of other fruits and vegetables with the rest of the family. This was also when the figs were ripe. Fresh figs are my favorite fruit and my grandparents had a big fig tree in their greenhouse that always gave us lots of figs this time of year. Finally getting to eat the food you have grown is a great feeling; nothing tastes better than a fresh, ripe fruit or vegetable that was just picked.

【ちょっと豆知識】 宮地晶子

Labour Day (労働者の日) ヨーロッパや日本のメーデーに相当します。9月の第1月曜日なので、土曜日から3連休です。労働組合の行進という行事もありますが、どちらかといえば子供にとって夏休み最後の休みの意味合いが強い日。日本で「夏休み最後の日」(京都では8月31日)といったら宿題を前に途方に暮れる、という日ですが、カナダの場合、宿題がないので心ゆくまでバーベキューやピクニックを楽しめるというわけです。

秋が来る…ここにも。 カトリーナ・カイラ

秋が来た、ということは、まもなく紅葉の始まりです。冬が来る前、最後の収穫のこの時期は、たくさんのご馳走が並びます。天気よし、食べ物よし、紅葉は美しく、休暇は楽し。秋は私の好きな季節。ハイキングやサイクリングに完璧の時。カナダの場合、新年度が始まったばかりで、大量の宿題に追われる生徒もいない、クラブはトレーニングや年度始めのイベントで忙しい。

9月はレイバー・デー(労働者の日)の週末で幕を開け、オタワのガティノー地域ではそれは即ちバルーン・フェスティバルのこと。この3連休には無数の気球が空に上がります。ありとあらゆる形、サイズ、色があり、これを見るために至る所から人が訪れます。どこへ行っても、夏の終わりのバーベキューを楽しむ人ばかり。小さいころは、この時期は家族みんなで、リンゴやブドウなどの果物や野菜を収穫する祖父母を手伝ったものです。またイチジクが熟する時期でもあります。取れたてのイチジクは大好物。祖父母の温室には大きなイチジクの木があり、たくさんの実をつけました。やはり自分で育てた物を食べる気持ちは最高。取れたて新鮮、完熟野菜や果物に勝るほどおいしいものはありませんね。

(訳:宮地晶子)

英語教育指導員 宮地晶子の

エイゴノマナビカタ

第122回

写真と英語

「先生!」上から元気な声が降ってきました。国際写真フェスティバルでのことです。見上げると、中学校の卒業生でした。「写真の専門学校に行くことにしました」。覚悟を感じさせる良い表情です。どちらかというとおとなしいイメージだった彼は、写真を通して大きく成長していました。で、そんな彼に感動して、こう言うのを忘れました。「今すぐ英語の勉強を始めるべし」。世界で活躍するなら、それは必須だぞ。

毎年、会期中はたくさんの写真家の卵がこの町を訪れます。彼らはプロの作家に作品を見てもらい、コメントをもらいます。その時「なぜこれを撮ったの」「何を表現したいの」と作家はたくさん質問します。これに答えないといいません。日本語でも黙ってしまう子が多い。でもとにかく自分から表現しないことには始まらない。

かつて来町した日本人受賞作家から、こんな話を聞いたことがあります。彼は、なんと海外の憧れの作家の家に押しかけて、助言を乞うたのです。とっても高名な作家でしたが驚くほど気持ち良く家に招いて、食事をご馳走してくれ、アドバイスをくれたといえます。

これまで来町した海外作家たちは、厳しいことを言う人、もっぱら誉めてくれる人、いろいろでしたが、共通しているのは若手を応援する気持ちです。

もっと愛情を受け止めるために、海外で評価されるために、いろいろ吸収するために、さあA君、すぐ英語を始めよう! 1日15分間でいいんだよ!